

## 平成29年度議会報告会開催結果報告書

### 1 概要

	第1回（建設公営企業常任委員会）	第2回（総務常任委員会）	第3回（民生文教常任委員会）
日 時	平成29年11月22日（水） 10:00～11:40	平成29年11月22日（水） 19:00～20:40	平成29年11月23日（木・祝日） 10:00～12:00
会 場	市役所南館4階 大会議室	大原集会所3階 洋室B	保健福祉センター3階 会議室1
出席議員	（司会）大原裕貴 （報告者）ひろせ久美子、中島健一 いとうまい、福井美奈子 田原俊彦 （議長）畑中俊彦、	（司会）岩岡りょうすけ （報告者）前田辰一、山田みち子 中島かおり、重村啓二郎 帰山和也、森しずか （議長）畑中俊彦	（司会）徳田直彦 （報告者）寺前尊文、松木義昭 平野貞雄、福井利道 長谷基弘、長野良三 （議長）畑中俊彦
参加者数	15人	6人	24人
内 容 （共 通）	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 議長あいさつ</li> <li>3 議会改革について（報告）</li> <li>4 平成28年度決算審査について（報告）</li> <li>5 質疑応答</li> <li>6 意見交換</li> </ol> </div> <div style="font-size: 3em; margin: 0 10px;">}</div> <div style="flex: 0.5; text-align: center;"> <p>各回共通</p> </div> </div>		
意見交換 のテーマ	芦屋の道路は安全？	芦屋の税金って高いの？	幼稚園・保育所のあり方

## (1) 当日の配布資料

No.	資料名
1	次第
2	議会のあらまし
3	次期議員と市長の任期短縮について
4	議会が変われば芦屋が変わる（内容「3 議会改革について」の資料）
5	平成28年度決算審査について（内容「4 平成28年度決算審査について」の資料）
6	決算特別委員会委員長報告資料
7	わたしたちの意見や要望を市へ届けるにはどうすればいいの？
8	平成28年度決算審査について
9	あしや市議会だより No.102
10	アンケート

## (2) 各班の報告の様子

○議会改革の報告は、配布資料「No.4 議会が変われば芦屋が変わる」に沿って、スライドを使って報告を行いました。（5分程度）

○平成28年度決算審査の報告は、配布資料「No.5 平成28年度決算審査について」に沿って、スライドを使って報告を行いました。（20分程度）

【第1回（建設公営企業常任委員会）】



【第2回（総務常任委員会）】



【第3回（民生文教常任委員会）】



## 2 質疑応答

○報告に関する質疑応答の要約を、第1回から第3回までまとめて一覧表にしています。

ご質問・ご意見	回 答
<p><b>【議会改革について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「議会は変われば芦屋市が変わる」というタイトルになっているが、議会目線ではなく市民目線で行うべきではないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・もちろん、議会が主役ではございませんが、議員は市民の代表として存在しています。今日は議会報告会ですので、このようなタイトルとしています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・議会改革の報告の中にICTの取り組みがあったが、ICTがいいのか疑問を感じる。 どのように本当によくなっているのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ペーパーレス化や効率化などありますが、ICT化は本年度から本格的にスタートしましたので、今後も活用方法は検討が必要だと考えております。またICT化は、議会だけでなく、行政や社会全体の動きとしてみていく必要があると思っています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・議会のICT化には賛成だが、パソコンが使えない方や目の見えない方への配慮はどうしているのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ペーパーレス化も大事ですが、必要に応じて紙資料も併用する必要があると思っています。</li></ul>
<p><b>【決算審査について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・芦屋市の財政健全度について、近隣自治体と比べてどうなのか？ 芦屋市を選んでもらうためには、相対的な観点から分析が必要では？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・財政は他市よりも豊かですが、芦屋市を選んでもらうためには、それだけではなく、何の施策を行うのかということが必要だと考えています。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・請願について、誰でも請願ができると憲法で保障されていると説明があったが、以前の定例会では、自治会連合会から請願が提出されたことを疑問視する議員の発言があったと記憶しており、矛盾しているのではないか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・請願は、紹介議員が必要となりますが、どなたでも提出することができます。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・市議会に提出された請願や陳情がどのように扱われたのかを、どうやって知ることができるのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・議会での審査結果はすべて市議会のホームページや『市議会だより』に掲載していますので、そちらでご確認下さい。</li></ul>

ご質問・ご意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育連合会の請願の説明の中で、3月31日の開級要望とあったが、どのようなことか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、新年度の準備のため、年度末である3月31日を閉級しています。それを開級に変更してほしいとのご要望です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩園幼稚園を建て替える際に、認定こども園化を想定した議論はしなかったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園の建て替え計画当時、市としては認定こども園を設置しない方針でした。認定こども園に変更することを先日も申入れをしましたが、市教委に応じてもらえなかった経過があります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・芦屋市のオープンデータの取り組みはどうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の議員が一般質問などで取り上げており、市民へアウトプットできるように訴えています。あまり進捗していないようです。これからの取り組みを後押ししていきます。</li> </ul>
<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会報告会をこんな小さな会場で開催するのではなく、ICTを活用してもっとオープンにしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・録音、撮影は禁止と申し上げましたが、後日、本日の要約をホームページに掲載します。</li> </ul>

### 3 意見交換内容

#### (1) 第1回（建設公営企業常任委員会）【テーマ：芦屋市の道路は安全？】

○参加された市民全員と、建設公営企業常任委員会の全委員が、対面方式で意見交換を行いました。

参加者	議員
<p><b>【無電柱化について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・個別の細かい要望はいくらでもあると考えるが、例えば、無電柱化の施策に対して、人の集まる所、危険な所など、どのような優先順位をつけるのかについて意見交換するなど、議会側の投げかけにもう少し配慮がほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・無電柱化については、優先順位をつけるのはもっともだと考えます。芦屋市では、11月10日に無電柱化推進計画策定委員会がはじめて開催され、今後、この委員会で優先順位が決められる予定のようです。無電柱化施策については、災害・景観・利便性を掲げており、災害・交通安全の確保が優先されるべきと思っています。</li><li>・市は、来年度に向けて無電柱化に関する条例制定を考えているようですので、その際には、パブリックコメントなど、みなさんのご意見を聞く機会があると考えています。</li></ul>
<p><b>【道路の歩車分離について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道路は基本的に弱者優先であるべき。本当は、車と人を分離すべきだと考えて、まちづくり懇談会など毎年要望をしているがゼロ回答である。</li></ul> <p><b>【自治会と議会の意見交換について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自治会と芦屋市が話をするよりも、自治会と議会が話をする方がいいと考える。</li></ul> <p><b>【阪神電車の高架について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・例えば、阪神電車の高架の問題は、芦屋市だけ取り残されている。市長と話してもお金がないとの回答だが、議員はどのように思っているのか知りたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・議会としては、自治会と話をしてまとめ、市に要望することはできると考えています。</li><li>・阪神の高架については、多くの議員も要望・提案をしてくれています。また、阪神電車に出向いて話もしています。</li></ul>

参 加 者	議 員
<p><b>【自動車の交通について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅地内に交差点があるが、自動車がスピードを出して通過する。住宅地内は歩行者優先のはずであり、自動車の速度制限を20キロなど強化すべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路での車規制や、ご提案の方式もありますが、地域の住民さんの合意形成などの課題もあります。また、20キロ制限は難しいのではないかと考えます。</li> <li>ゾーン30キロの制限地域として、現在、市内では、浜町・大東町など4地域で実施されています。</li> </ul>
<p><b>【JR芦屋駅南地区の再開発について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の計画は、車を中心とした再開発になっていて人が中心でない。JR芦屋駅北側の開発が成功であったのかを検証し、車が入ってくる開発は止めて人間中心にすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR芦屋駅南地区の再開発については、あくまでも人が優先するというのはそのとおりだと考えます。ただ、今のままでは東西の交通に多くの課題がありますので、これを解決するために行われるものと考えております。</li> </ul>
<p><b>【防犯カメラ設置について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラはプライバシー保護の関係で疑問に思っている。カメラを設置することが本当に防犯になっているのか。カメラなど機械に頼るのでなく、もっと市民のコミュニケーションや人間関係を高めて防犯をすべきと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プライバシー保護の観点から、現在カメラは連携しておらず、必要な時にだけチェックできる状況になっていると聞いています。防犯カメラは、犯罪をさせない抑止力としての効果があるとされており、補完的な役割であると考えております。</li> </ul>
<p><b>【緑地の保全について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩園町では畑が宅地化している。池も埋め立てられたがどうにかならないのか？ 岩園小学校北側にほっとする地域があった。住民がほっとできるような場所を残してほしい。税制措置はないのか？</li> <li>なお、高塚山開発に関して西宮の問題ではあるが、緑を残してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>池があった土地は個人所有のため、市は関与できませんが、税制措置については考えられると思います。</li> <li>市民の声を議会は反映したいと思っています。例えば、開森橋架替工事では、当初、市は開森橋のバス停を元に戻さない予定でしたが、残してほしいとの声を受け、元の場所に戻ってきました。幼稚園・保育所のあり方については良い方向に申し入れをして変更されました。より多くの意見を寄せていただきたいと思います。</li> </ul>

参 加 者	議 員
<p><b>【交通マナーについて】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 駅、大丸の北側、歩道であるのに自転車が走り危ない。 また、自動車も歩道に乗り上げる形で駐停車している、 現状に対しての改善要望を何度も芦屋市に行っているが、改善されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民のモラルの問題でもあり、モラルの向上につなげていきたいと思います。</li> </ul>
<p><b>【JR 芦屋駅北の選挙カー停車について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JR 芦屋駅北口において選挙カーを停めての演説は迷惑である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通上の混雑や安全について配慮をします。</li> </ul> <p>※現職議員としては、選挙運動期間中、交通上の混雑や安全に配慮しますが、本来、選挙運動用自動車は、兵庫県道路交通法施行細則にて交通規制の対象から除く車両として取り扱われています。</p> <p>現職議員以外の立候補者もおられますので、法令等の規程について、ご承知おきください。</p>
<p><b>【歩道の自転車通行帯について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩行者が通行しやすいように、自転車に対するハード面での取組も必要ではないか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在は中央線、臨港線において歩道の中に分離帯を設けています。</li> </ul>
<p><b>【地域内住民の自覚について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内が相互に心を通わす住民自身の自覚が必要であり、今後できることをしていきたい。自治会でもそのようなテーマでやっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民の声を集めることが必要だと考えております。</li> </ul>
<p><b>【芦屋川沿い阪急バス停について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芦屋川沿いの阪急バスの停留所の通りは120mあるが、人通りが多いのでバス停へ屋根をつけてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご要望として承ります。</li> </ul>
<p><b>【議会改革について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会改革というのであれば、最終結論ではなく、それに至る過程も重要。 (議会に対して) 党派同士の争いのように感じるところがある。市民が覚醒したら変わるのではなく爆発する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 党派に関わらず、芦屋にとって少しでもよいものをつくろうと思っています。 市民の付託に丁寧に応えてまいります。</li> </ul>

参 加 者

議 員

【議会への要望について】

- ・息子が浜風町に住んでいる。災害について今後要望したい。意見があった場合にはよろしくお願いします。

- ・意見交換の機会を設け、声を市政に届けていきます。



## (2) 第2回（総務常任委員会）【テーマ：芦屋の税金って高いの？】

○参加された市民全員と総務常任委員会委員（司会者を除く。）が2班に分かれて、それぞれで意見交換を行いました。

○自己紹介から始まり、和気あいあいとした雰囲気の中で話し合いを行った後に、2班で内容を共有しました。

A班（市民3人・議員3人）	B班（市民3人・議員3人）
<p><b>【税に対する意識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・税金が高いと思っている人が多いが、サービスに対しての満足度が低いからではないか。</li><li>・「税金が高い」という統計上のことや実感がある。</li><li>・高いと思っていない人も多い。</li><li>・税金が高いことに満足していないのは、街をきれいにするハード面より、人を対象とするソフトに使っていないからではないか。</li><li>・高齢者のことをもっと抑えてでも、幼稚園のことなど子どものことに使ってもらいたい。もっと議員に頑張って欲しい。</li></ul>	
<p><b>【納税について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高額納税できる人には、払ってもらうのが良い。</li><li>・高額納税者のなかでも住む人がいなくなり、空き家の問題が発生している。</li></ul>	
<p><b>【魅力あるまちのために】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・芦屋では行政が何をやっているのかわからない。</li><li>・もっと芦屋に来てほしいというのなら、JRに対する弱腰を改めてほしい。</li><li>・物価高を緩和するため、産地直送の大規模市場をつくる。場所については県内の中北部の自治体と協議する。</li><li>・二輪車用駐車場を整備して欲しい。</li><li>・交通、バスの普及と回数を増やして欲しい。</li><li>・東六甲展望台（西宮市）の整備をして欲しい。</li><li>・安い市営駐車場を増やして欲しい。</li><li>・住みたいまちのランクが1位から20位に下がったことに議員はどう考えているのか。</li></ul>	

A班（市民3人・議員3人）

B班（市民3人・議員3人）

【税金の使い道について】

- ・自治会に対して助成金を増やして欲しい。
- ・税金を社会福祉に使用して欲しい。
- ・高齢者バスを無料にして欲しい。
- ・自然保護に税金を投じて欲しい。
- ・ボーイスカウト活動に補助金をつけてほしい。
- ・高齢者は、交通・買い物・医療の問題がある。
- ・（意見交換会のテーマとして提示された）住民税の1%の使い道といっても、住民税全体の金額を示さないと意味がない。



(3) 第3回（民生文教常任委員会）【テーマ：幼稚園・保育所のあり方】

○参加された市民全員と、民生文教常任委員会の全委員が、対面方式で意見交換を行いました。

参加者	議員
<p>・市が示した「公立幼稚園・保育所のあり方」についてどう考えているか。 公立幼稚園の3年保育についてどう考えているか。 それぞれの議員の意見をお尋ねしたい。</p>	<p>・公立と私立の共存ができないかと思いますので、3年保育も含めて再編を進めるべきだと考えています。</p>
	<p>・私立の経営状況を考えて、芦屋では2年保育を基本としていると考えています。</p>
	<p>・芦屋の幼児教育は優れていると認識しています。 しかし、私立幼稚園についても良い評判を聞いています。 3年保育も大事ですが、待機児童対策も喫緊の課題なので対応しなければならないと考えています。</p>
	<p>・今ある施設を有効に活用するために、3年保育は合理的だと考えています。 行政は市民との合意形成を図る努力をもっとすべきだと思います。</p>
	<p>・公立幼稚園の3年保育は実現して欲しいと考えています。 衆議院予算会議で安倍首相は3～5歳児の教育費無償化をしきりに訴えていました。 それによって、幼児教育が3年保育を基本とするものになるよう期待しているところです。</p>
	<p>・幼稚園の園児数は昭和50年代以降、ずっと減り続けています。 既設の施設を有効活用することが必要ですが、市は認定こども園で対応する考えですので、経過を見守っていただきたい。</p>
	<p>・待機児童対策は芦屋市にとって喫緊の課題です。 特に0～2歳の待機児童の受け皿が必要で、3歳の幼児教育も大切ですが、優先順位を見定めて進めていくべき課題と考えています。</p>

参 加 者	議 員
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議員の皆さんは何をもって議案を評価しているのか。 「教育振興基本計画」に則っているかが大事だと思う。 未来志向で「就学前カリキュラム」を前提に議論されているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今までは公立の幼稚園と保育所の保育の質を評価していましたが、さまざまな人から意見を聞く中で、民間でも保育の質は十分に担保されると理解しています。 「就学前カリキュラム」については市から説明を受け、同じものを議員も持っているの で理解をしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育審議会の答申をどう捉えているか。 今後は認定こども園として、公立幼稚園は中学校区ごとの1～2園 程度の配置が望ましいとあるが。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定こども園に移行して公立幼稚園を減らす計画となっておりますが、地域によっては ニーズに対応する選択肢がなくなる地域もあるのではないかと懸念しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育審議会の答申が出た当時は待機児童が120人程度だった ようだが、今は300人を超えていると聞いている。 この勢いなら来年の春には500人ぐらいに増えるのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所は年度ごとに5歳児が卒所するため、毎年4月には待機児童が200人程度減少 します。右肩上がりに増えるものではありません。 市の計画どおりに実施されれば、潜在的な待機児童を含めてもニーズに対応できる環境 になると考えております。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間法人の経営を配慮して公立幼稚園で3年保育をしないなら、公 立病院をやめたら良い。あれこそ民業圧迫ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立病院は民間病院がやらないような不採算部門を担っていますので、民業圧迫とは違 う観点になると思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもへの施策も大切だが、高齢者の施策についてもしっかり考え て欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回は「幼稚園・保育所のあり方」というテーマで意見交換していますので、子どもを 中心とした議論になっていることをご理解いただきたい。</li> </ul>



ご参加いただいた皆様、  
貴重なご意見を頂戴した皆様、  
誠にありがとうございました。